

〒150-8050

東京都渋谷区神南 1-1-1 日本体育協会
スポーツ指導者育成部（スポーツドクター・AT 担当）行
出席確認カード在中（27回臨スポ）

【送付用 1/2】

FAX 送信先:03-3481-2284

送付期限:2016年11月18日(金)

※ 郵送の際は、上記を切り取ってご使用ください。

日本体育協会公認スポーツドクター・アスレティックトレーナー義務研修

第 27 回日本臨床スポーツ医学会学術集会

出席確認カード

登録番号（7桁）								生年月日（西暦）
フリガナ								年 月 日
氏名								
保有資格 （〇をつけてください）		公認スポーツドクター						
		公認アスレティックトレーナー（JASA-AT）						

<ネームカード貼付欄>

- ※ 必ず学会ネームカードのコピーを貼付してください。参加証、領収証、領収証控、公認スポーツ指導者登録証は不要です。
- ※ JASA-ATはBLS資格の認定証(写)を併せて貼付してください。貼付がない場合、義務研修を受講したことになりません。

<ネームカード>

<BLS 資格認定証(JASA-ATのみ)>

裏面も必ずご記入さい。

<指定演題>

<11月5日(土)>

No.	セッション形式	セッションタイトル	開始時刻	終了時刻	時間(分)	聴講
1	会長講演	膝の外傷・障害からのスポーツ復帰—自らを知り、再発を防ぐ—	8:40	9:10	30	
2	シンポジウム4	競技復帰に備え妊娠期、出産後のトレーニングをどうするか?	9:05	10:35	90	
3	シンポジウム1	水泳日本代表チームへのメディカルサポート体制の歴史と現状: 1964から2020へ	9:20	10:50	90	
4	シンポジウム3	サッカーによる外傷・障害は予防できるのか?	9:20	10:50	90	
5	教育講演6	スポーツ栄養学の実際	9:20	10:50	90	
6	パネルディスカッション1	アスリートの立場で腰痛管理 ~非特異的腰痛では困ります~	9:20	10:50	90	
7	シンポジウム5	大規模調査からみえる女性アスリート、指導者の現状とAMED研究班の今年度の取り組み	10:35	12:05	90	
8	招待講演2	大相撲力士のスポーツ傷害	10:55	11:55	60	
9	教育講演1	オリンピックとスポーツ医・科学	10:55	11:55	60	
10	教育講演4	スポーツ選手におけるメンタルヘルスについて	10:55	11:55	60	
11	ランチョンセミナー 1	前十字靭帯損傷膝の術前・術後評価	12:10	13:10	60	
12	ランチョンセミナー 2	プロサッカー選手に対するメディカルサポート	12:10	13:10	60	
13	ランチョンセミナー 3	全日本女子バレーボールのメディカルサポート-障害状況とオリンピック帯同経験-	12:10	13:10	60	
14	ランチョンセミナー 4	アスリートにおける唾液分泌型免疫グロブリンA (SIgA) による感染防御	12:10	13:10	60	
15	ランチョンセミナー 5	腱・靭帯付着部症に対する各種保存療法 -update-	12:10	13:10	60	
16	教育講演2	東京2020に向けた夏季オリンピックの医学サポート	13:20	14:20	60	
17	シンポジウム6	成長期の運動器スポーツ障害の予防と治療の実際	13:20	14:50	90	
18	パネルディスカッション2	リオから東京へ パラアスリート強化戦略 競技団体がスポーツ医学にのぞむこと	13:20	14:50	90	
19	パネルディスカッション3	足・足関節の議論の分かれるスポーツ傷害の治療について	13:20	14:50	90	
20	特別講演1	スポーツ医学の新しい魅力—外傷・障害の治療から予防へ—	14:30	15:30	60	
21	教育講演3	脊髄損傷アスリートにおける二次傷害 (脊損者における褥瘡、うつ熱、貧血、肩・肘傷害等について)	15:00	16:00	60	
22	教育講演5	2020年東京オリンピック・パラリンピックに際して集団災害医療対策について	15:00	16:00	60	
23	ワークショップ	女性スポーツメディカルネットワーク	15:00	16:40	100	
24	招待講演1	オリンピックとしてスポーツ科学、そしてスポーツ医学	15:40	16:40	60	
25	シンポジウム2	スポーツ歯科の取り組みと2020年へのアプローチ	16:10	17:40	90	
26	パネルディスカッション4	アスリートの障害調査と予防対策	16:10	18:10	120	
27	シンポジウム7	女性アスリート特有の問題への対策を多方面から考える	16:45	18:15	90	
28	報告会	運動中の内科的重大事故に関する登録制度	17:45	18:15	30	

<11月6日(日)>

No.	セッション形式	セッションタイトル	開始時刻	終了時刻	時間(分)	聴講
29	教育講演7	高齢者・障害者スポーツの留意点: 内部障害リハビリテーションの観点から	9:30	10:30	60	
30	シンポジウム9	リオデジャネイロ・オリンピックのメディカルサポート	9:30	11:00	90	
31	シンポジウム13	超高齢社会における子供のスポーツのあり方 - 小中学生の身体活動が運動器に与える効果 -	9:30	11:00	90	
32	シンポジウム15	スポーツイベント・健康スポーツにおける健康スポーツナースの役割 - RWC2019, Tokyo2020-	9:30	11:00	90	
33	パネルディスカッション5	ラグビー-競技開催時における重症外傷への対応	9:30	11:00	90	
34	招待講演3	Why screening for injury risk is a waste of time - but why are we still screening our Olympic athletes? - The Norwegian Olympic Screening & Monitoring Programme	10:40	11:40	60	
35	シンポジウム10	2020東京への道 -国際競技大会のメディカルサポートに向けて-	11:10	12:40	90	
36	シンポジウム14	小児の内科的なスポーツ障害	11:10	12:40	90	
37	シンポジウム16	高地/低酸素トレーニングの根拠と現状に基づき今後の方向性を探る	11:10	12:40	90	
38	パネルディスカッション6	コンタクトスポーツの脳震盪~各スポーツでの脳震盪の現状と対策~	11:10	12:40	90	
39	シンポジウム18	バスケットボール日本代表(男女)各カテゴリーにおけるメディカルサポート	11:15	12:45	90	
40	教育講演8	鼠径部痛症候群の定義は修正される ~器質的疾患の発生要因を解明して診断・治療・リハビリ・予防を行う概念に進化する~	11:50	12:50	60	
41	ランチョンセミナー 6	スポーツ外傷・障害からの競技復帰と動的バランス評価	13:10	14:10	60	
42	ランチョンセミナー 7	スポーツ外傷・障害に対する多血小板血漿 (PRP) 療法の現状と展望 ~欧州と日本におけるPRP療法の経験より~	13:10	14:10	60	
43	ランチョンセミナー 8	日常診療に役立つ下肢のスポーツ障害・外傷の診断と治療 (成長期を中心に)	13:10	14:10	60	
44	ランチョンセミナー 9	膝半月板損傷の治療戦略	13:10	14:10	60	
45	特別講演2	東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを考える	14:20	15:20	60	
46	教育講演9	学校現場におけるスポーツ外傷・障害を誰がどう対応するか	14:20	15:20	60	
47	シンポジウム8	A C L 損傷予防	15:35	17:05	90	
48	シンポジウム11	ドーピングとの戦いの現状と未来	15:35	17:05	90	
49	シンポジウム12	疲労骨折	15:35	17:05	90	
50	シンポジウム17	スポーツ外傷に対する高気圧酸素治療の根拠と実際 ~高気圧酸素治療のエビデンスと現状に基づき、将来像を探る~	15:35	17:05	90	
51	パネルディスカッション7	子どもの運動器障害 -学校検診の開始を受けて-	15:35	17:05	90	

氏名 _____

合計 _____ 分

※ 合計 240 分以上の聴講が必要です。

日本体育協会公認スポーツドクターおよび公認アスレティックトレーナー(JASA-AT) 資格更新のための義務研修について

第27回日本臨床スポーツ医学会学術集会は、日本体育協会公認スポーツドクターおよびJASA-ATの資格更新のための義務研修です。資格をお持ちの方は下記の通り手続きをしてください。

なお、ご自身の義務研修受講状況はスポーツ指導者マイページにてご確認ください（確認方法については下記「義務研修受講状況および資格有効期限確認方法等」をご参照ください）。

<義務研修受講終了申請方法>

- ① 指定演題（次ページ参照）を**合計4時間(240分)以上聴講してください**。各演題は最初から最後まで聴講いただく必要があります。
 - ② 会場にて配布している「出席確認カード」の指定演題のうち、聴講したものの「聴講」欄に○印をつけ、合計時間および必要事項をご記入のうえ、**11月18日(金)**までに日本体育協会宛に郵送またはFAXにて送付してください。その際、表面の所定の欄に学会受付で受け取った**ネームカードのコピー**を貼付してください。
 - ③ スポーツ指導者マイページ上の義務研修受講状況は、**12月上旬頃までに**反映します。
- ※ JASA-ATの方は一次救命処置（BLS）資格の認定証（コピー可）も貼付してください（貼付がない場合は義務研修を受講したことになりませんので、ご注意ください）。
- ※ 「出席確認カード」は日本体育協会のHPからもダウンロード可能です。
（日本体育協会HPトップページ→スポーツ指導者（資格情報）→指導者関係イベント→
スポーツドクター義務研修/アスレティックトレーナー義務研修）

<送付先>

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
日本体育協会スポーツ指導者育成部
スポーツドクター・AT担当
FAX：03-3481-2284（TEL：03-3481-2226）

<送付期限>

2016年11月18日（金）

<義務研修受講状況および資格有効期限確認方法等>

- スポーツ指導者マイページ（<https://my.japan-sports.or.jp/login>）にてご確認ください。
- 登録状況およびスポーツ指導者マイページに関するご質問は下記までお問い合わせください。
TEL：03-5148-1763（公認スポーツ指導者登録係）
- スポーツ指導者マイページを利用したことがない方は、ログイン画面下部の「パスワードをお持ちでない方、パスワードをお忘れの方はこちら」を参照いただき、是非ご登録ください。
- 既に有効期限が切れている方は、資格の更新を希望する場合は「再登録申請書」の提出および再登録料が別途必要となる場合があります。出席確認カードを提出後、日本体育協会までお問い合わせください。
- スポーツ指導者マイページ上の義務研修受講状況の反映には、出席確認カードの送付期限から2週間程度お時間をいただきますことを、予めご了承ください。